

第5回 名女読書会

2021.3.10

4名の参加があり、
5冊の本が紹介されました。
読書会の最後に一番“いいな”と
思った本に投票して
1位の本を決めました。



9
T



「ツナグ」 辻村深月
生者と死者を会わせてくれる
“ツナグ”のもとにやってきた
人たちの物語です。
この本を通して「命の尊さ」を
感じ、人生を大切に生きたいと
思いました。

「茶色の朝」

フランク・バヴロフ

茶色のものしか持つてはいけない
と法律で決められている世界の話。
統制されることの怖さがじわじわ
と伝わってくる物語です。



9
T

「智恵子抄」 高村光太郎

高村光太郎の妻、智恵子への愛が
詰まった詩集です。病院の待合室
で読んでいて、泣きそうになって
しまいました。とても感動する
ので、読んでみてください！



953
P

「依頼人は死んだ」

若竹七海

主人公の探偵が自立した女性とい
う感じがカッコよく、セリフが
粋です！ドロドロとした人間関係
の話だけど、とにかく探偵が
カッコいいので、おすすめ！

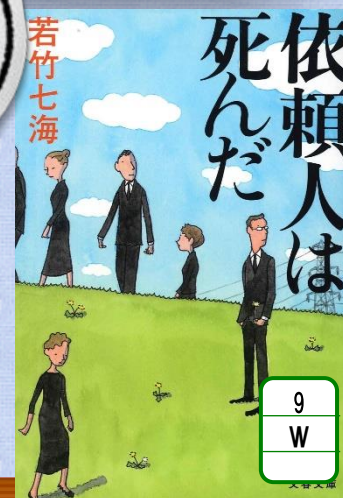


9
C

「23分間の奇跡」

ジェームズ・クラベル

ある女性教師が、たった23分間で
クラスの子どもの考えを統制
してしまう様子を描いた物語。
とても怖いけれど、ぜひ読んで
欲しい本です。



9
W